京城日報
朝夕刊共六頁

現實と化した"幻影"に
大統領以下、顔色なし
我空襲に震ふ米全土

【東京電話】ブエノスアイレス電によれば わが海鷲は去る九日米本土オレゴン州に對し開戰以來初の空襲を敢行し相つぐ敗戰に喘ぎつゝあるル大統領以下米國民を驚愕狼狽の坩堝にたゝき込んだ、大東亞戰爭勃發するや米國は太平、大西兩洋より呼應する日獨伊[illegible]に米本土西岸に神出鬼沒海上交通路破壊に活躍しつゝあるが米本土の初空襲はこゝに日本海軍によつて先鞭をつけられた、かくて海空よりする米本土の脅威は[illegible]二十日にはカナダ領バンクーバー島に、翌二十一日[illegible]米國民は二月の米本土初砲撃以來日本機空襲の幻影に怯え、[illegible]一帯にはしばしば空襲警報が發令され國民は戰々兢々としてゐたが遂に幻影はここに現實となつた、その狼狽ぶりは蓋し想像に絶するものがある

スターリングラード市の陥落愈よ近し

【ベルリン十五日同盟】[illegible]赤軍が不落を誇つたスターリングラードの陥落もいよいよ目前に迫つた、一方赤軍も背水の陣を布いて獨軍の攻撃ごとにこれに反撃を加へんとし依然頑強に抵抗してゐるが、犠牲消耗の度はいよいよ甚しく急激に戰力を喪失しつつあることは爭へない、デーリー・ヘラルド紙モスコー特派員が『スターリングラード[illegible]特別な理由がない限り到底防ぎ得ないやうな損害である』と報道し、これをソ聯の樞機當局が許してゐることによつてもこの間の事情は窺はれよう

觀兵式御臨の皇帝陛下（左端は梅津關東軍司令官）＝新京より謹電送

社説
我初空襲に米震撼

一

ブエノスアイレス電によれば米西部防衛司令部は去る九日日本飛行機が米本土に對する初空襲を敢行、オレゴン州西南部に焼夷彈を投下、火災を生ぜしめたと十四日夜發表した。我が大本營は未だこれについて發表せず、その詳報は判明しないが、とにかく久し振りに聴く快報である。こゝに國民と共に我が海鷲又してもの偉業に敬意を表すると同時に、決意を堅ふものである。

二

我が海軍の米本土に對する攻撃は既に二回に及んでゐる。即ち本年二月廿四日我潜艦は南カリフオルニヤ州サンタバーバラ沿岸に突如出現、附近沿岸一帯の軍事施設を砲撃し、米國民をして戰慄のドン底に陥れたが、その後六月廿一日カナダ・バンクーバー島に對し同じく我潜艦が砲撃すると共に、今回我が海鷲が空襲を敢行した北米オレゴン州に對しても砲撃を加へ、米國民を驚愕せしめた。しかしこの二回にわたる米本土攻撃は何れも潜艦による奇襲砲撃であつて、空よりする米本土攻撃は實に今回が最初であり、その意義は極めて深いものがある。

三

即ち我々は前二回の潜艦による米本土砲撃によつて、東太平洋の南北にわたる制海權は既に我海軍の手中に歸したことを確認したのであるが、今回のオレゴン州空襲はその制海權に加へて、制空權をも完全に獲得したことを示すものであり、我がアリユーシヤン作戰が赫々たる戰果の中に、北海の護り嚴たる實を見る時、我が海軍の態勢は愈よ對米攻撃態勢をこゝに確立したものとして、限りなき力強さを感ずるものである。

四

逆にこの事實の米國に與へる心理的影響の如何に大なるものあるべきやに想到するならば、今回の初空襲は正に米國の鼻先に冷水三斗を浴びせたものであつて、さなきだに對日恐怖に戰くルーズベルト以下ヤンキーどもの心的動搖は蓋し絶大なるものがあらうと推察されるのである。オレゴン州防衛官は水上機一機による一個の焼夷彈の落下は空襲としては極めて小規模のものであつたと住民の士氣を昂揚することに努めてゐるが、たとひ我海鷲初空襲の戰果は微々たるものであつたにせよ、その米國民に與へた神經戰の戰果はかゝる虚勢を以てしても到底かくし切れないほど大きなものがあらう。

五

かくて、米國は今後日本の新しき攻撃の夢にうなされることであらうが、第一次ソロモン海戰以來既に目論見つゝ、しかも到るところ悉く失敗に終つた對日反撃態勢を逆に日本よりの積極的攻撃によつて、當然に斷念せざるを得なくなつたばかりでなく、これによつて米軍事當局に對する一般國民の不安、不滿がいつ爆發するかわからぬといふ國内的危機に立つことになつたわけである。かくて敗戰米國は日本よりの新しき攻勢と、對日攻勢不可能といふ二重の惱みを深刻にしつつ、太平洋への意圖を全面的に自ら引込めざるを得なくなるであらう。

獨、虱潰しの猛爆
エリスタより更に東進

【ベルリン十五日同盟】去る七月下旬ドン河渡河徐々にカスピ海方面に向つて進撃しつつあつた獨軍部隊は先にエリスタを占領したと報ぜられたが、十五日ローカル・アンツガー紙の報道によれば同部隊はエリスタ占領後更に東進をつゞけその先鋒はアストラハンからカスピ海近くに沿ひ南方に走る新鐵道線路をこの北部で遮斷したといはれる、獨軍筋ではこの方面の戰況につき未だ沈默を守つてゐるがもし右の報道が事實とすれば獨軍部隊がアストラハン南方においてカスピ海沿岸に達するのも時間の問題と見られ同方面の戰況は俄然各方面の注目を惹くに至つた

様相を呈してゐる
さらにピーピーシー放送はスターリングラード背面のボルガ河の諸橋梁が悉く破壊された上、獨空軍が連日連夜同河の連絡路を爆撃してゐる結果、地上部隊によるスターリングラード防備軍の救援はもはや絶望となつた旨を認めてをり、赤軍は僅かに空軍增援部隊を派遣して獨空軍の活躍を妨害せんとしてゐるに過ぎない、退路を失つたスターリングラード市防衛の赤軍は斷末魔の抵抗を續けてゐるものゝ漸次四分五裂の状態に陥つてゐる様子でさしも熾烈を極めたスターリングラード市攻防戰も今や刻々と大詰めに近づいてゐる

ソ聯戰況發表

【モスコー十五日同盟】ソ聯情報局十五日發表＝一、十四日夜來赤軍はスターリングラード西部およびモズドツク地區において交戰した
一、モズドツク地區においては獨軍は一部落に突入し、赤軍はこれを攻撃中である

【ストツクホルム特電】（十五日發）モスコー來電によればこの數日來ドイツ空軍の活躍は最も熾烈を極め、十四日の如きリストホーヘン大將麾下のドイツ空軍は終日總動員でスターリングラード上空の制空權を確保すると共に頑強に抵抗するソ聯軍に對し虱潰しの爆撃猛爆を加へ數ケ所に亘つて地上部隊の市街突破路を開いた

赤軍四分五裂

【リスボン十五日同盟】都心に肉薄する獨軍の猛攻を前にスターリングラード市の運命も今や旦夕に迫つた感が深いが、十五日モスコーより傳へられた各情報も一齊に同市攻防戰が『最後の階段』に入つたと報じ、特に同市西部ならびに西南部の赤軍が全く危機に陥つたことを認めてゐる、ロンドンピーピーシー放送は獨軍がスターリングラード市の主要防衛陣地の要點を確保し、同市西部では赤軍が死力を盡して防衛に努めた最も重要な陣地が遂に失はれたと述べ、獨軍がすでに外廓要塞地帯を突破して戰鬪が市内に移つたことを裏書してゐる、さらにユーピーモスコー電も獨空軍の大群が一地區、一地區と順を逐うて正確なる集中爆撃を行ひ、赤軍防衛陣地を次々に破壊し凄惨の如く突撃する獨戰車部隊の活躍と相俟つて歩兵部隊の市内への進撃路を開いてゐると報じ、ある地區の如きは三百機に達する獨機の巨翼の翳を浴びて一擧に潰滅されたといはれる、獨軍砲兵部隊の巨砲もこれに呼應して間斷なく砲門を開き地軸を搖がす砲音と爆音は四邊を壓し戰場一帯はこの世の地獄の如き

騒擾勃發地域は
軍事的に重要
印度内務長官言明す

【リスボン十五日同盟】ニューデリー來電によれば、印度政廳内務長官レジナルド・エム・マツクスウエルは十五日目下開會中の下院において印度民衆の反英騒擾に言及、騒擾勃發地域が軍事的に重要であるのみならず、勞働者の罷業方法もまた頗る巧妙であり事態は極めて憂慮すべきものがある旨左の如く言明した
反英騒擾は廣範圍にわたつて勃發してゐるが、これら地域の多くが軍事的に重要であり、かつ罷業者たちが極めて巧妙な方法をとつてゐる點は輕視し得ざるものである、しかして今次の騒擾は會議派領袖の逮捕によつて勃發したものではないかと思はれる

クリツプス聲明に反駁

【リスボン十四日同盟】ロイター通信ボンベイ電によれば印回兩教徒の妥協を企圖しつゝある元マドラス州首相ラジヤゴパラチヤリヤーは、十四日さきにクリツプスが下院において會議派がクリツプスの對印提案を一蹴したのはガンヂー翁が干渉したことによると聲明したのに對し、これに反駁して左の如く述べた
ガンヂー翁は目下監禁中であり、かかる根據なき物語を否定する由もないが、余は終始會談に出席してゐたから斷言し得る、ガンヂー翁は會談の後期において、ニユーデリーに滯在してゐなかつたのでその出來事には何らの責任もない、かゝる惡意的揑造をなすものこそ英印關係を阻害したものであり今次印度の悲劇的情勢に對し多大の責任を負ふべきである

契機として發生した獨立騒擾の見透し
（二）英國側策謀の可能性を中心に檢討を行つた、印度の事態は英印當局の徹底した彈壓手段に拘らず何ら緩和されず事態をこのまゝ放任する時は印度を反樞軸聯合國の一環としてまた對重慶援助の基地として使用する手段が狂ふわけで、英國の高壓手段が逆らに印度民心を英國より離れしめる結果となつてゐることに對しては米國ワシントン米官邊でも相當批判的態度をもつて見てゐる、從つて右軍事會議においては各國代表より相當突込んだ意見の開陳があつたもの、如く事態はますます米國政府の調停乘出しを誘致しつゝある模様である

印度問題に集中
太平洋軍事會議名案なし

【ブエノスアイレス十五日同盟】ワシントン來電によれば米大統領は十五日太平洋軍事會議を開催、印度問題および支那情勢につき協議した、會議は極めて長時間にわたつたといはれるが、その大部分は印度問題に集中され
（一）國民會議派の不服從運動を

米亞石油交渉進捗

【ブエノスアイレス十五日同盟】對アルゼンチン石油供給問題に關し過般來米、アルゼンチン間に交渉が進捗中と傳へられてゐたが、アルゼンチン外務次官ガツシエは十五日の記者團會見で右事實を確認
『細目に關し目下關係各省で檢討中であるため交渉の詳細については當分の間公表する譯には

米太平洋艦隊に空軍司令官新設

【ブエノスアイレス十五日同盟】ワシントン來電によれば、米海軍長官ノツクスは今回米海軍太平洋艦隊に空軍司令官の職を新設し現海軍航空局長官ジョン・タワーズ少將を中將に昇格して新司令官に任命した旨十五日發表した、なほタワーズ中將の後任としてジョン・マツケイン少將が海軍航空局長官に任命された

（ゆかなば）』と語つた

北の護り固し國軍の威容
晴の慶祝觀兵式
きのふ國都に豪華繪巻

【新京特電】輝く建國十周年慶祝觀兵式は爽涼の十六日午後二時三十分新京大同大街順天公園東北端の式場にて擧行された、晴れの光榮に浴する國軍參加部隊は陸軍軍官學校生徒隊を先頭に禁衛隊步兵第十一團、同第二十五團、陸軍訓練學校軍士候補者隊、興安學校生徒隊、興安騎兵部隊、第三高射砲隊、第一自動車隊の順序に整列その他飛行隊、新京軍樂隊、ハルビン軍樂隊等を加へてその數約五千、十五日の式典、十六日の祝賀會に參列した日滿華各界代表、外國使臣等特別拜觀者は各隊の反對側に整列、梅津關東軍司令官兼駐滿大使、關東軍將星、滿洲國張國務總理以下各部大臣、有資格者は所定の位置に待機、皇帝陛下の御臨を御待ち申上ぐるうち、皇帝陛下には陸軍御軍裝も凛々しく午後二時卅分式場に御到着、于治安部大臣の御先導にて一旦御休所に入らせられ、御少憩のゝち觀兵指揮官郭恩霖上將より人員奏上を聞召され、無蓋御召車に御乘車、皇帝旗を先頭に梅津軍司令官兼駐滿大使、張總理以下これに扈從し最右翼軍官學校生徒より序列に從ひ徐々に御閲兵を開始、第一自動車隊を最後に閲兵御終了、分列式場御座前に御着、于治安部大臣の先導にて一旦御休所に入らせられ、午後三時十三分治安部大臣御前に參進分列開始を奏上、陛下御座に就かせられるや郭諸兵指揮官の命令一下最左翼の第一自動車隊より分列前進を開始、ノモンハンの戰鬪に、熱河作戰に武勲の歴史を誇る業蹟を誇る第一自動車隊は地軸をゆすりて堂々御前を過ぎゆけば續くは遼陽義助上校の指揮する第三高射砲隊、近代科學兵[illegible]剽悍無比の興安騎兵隊と興[illegible]うけた蒙古の若武者揃ひ[illegible]來の國軍を双肩に擔つて[illegible]軍官學校生徒隊等々[illegible]にはいと御滿悦の御[illegible]上部隊に呼應して大[illegible]をもつて鮮かなる空中分[illegible]飾る豪華絢爛の大觀兵式は[illegible]

交戰わづか五時間
巡艦以下多數の艦船を撃沈破
英のトブルク上陸作戰 伊軍詳報發表

【ローマ十五日同盟】去る十三、十四の兩日にわたり獨伊軍占領下の北阿トブルクに對する英軍の上陸作戰は獨伊軍の有效な反撃にあつて完全に失敗したが、右に關し十五日伊軍司令部は左の如く詳報を發表した
十三日夜英軍は有力なる海空軍の掩護のもとにトブルクに上陸を企圖したが、獨伊軍は直ちにこれに反撃を加へ交戰五時間にして敵上陸部隊を撃退し多數の捕虜を得た、之ら敵上陸部隊並に落下傘部隊に對し伊軍は獨軍と緊密なる協力のもとに猛攻、これを粉碎した、一方獨伊沿岸砲および高射砲は一齊に上陸掩護中の敵海上部隊に對して猛火を浴びせ、驅逐艦二隻および多數の輸送船を撃沈した、また獨伊空軍部隊は東方に向つて退却中の敵艦艇を追撃、これに爆彈を加へ巡洋艦およびに驅逐艦を追[illegible]撃沈し驅逐艦一隻その他數隻の敵快速艇、上陸艇を撃沈し驅逐艦一隻を撃沈した[illegible]およそ[illegible]小艦艇數隻に大損害を與へた、この間陸上において獨伊軍は俘虜五百七十六名（うち將校三十四名）を得たほか、敵の遺棄死體は數百名へ達した[illegible]る戰果をあげたが、わが方の損害は極めて輕微である

小磯總督、慶北へ

小磯總督は十六日午後二時四十分發『あかつき』にて大野政務總監、渡邊秘書官、副官を帶同、慶北道の農業初度巡視へ出發した、日程は十六日大邱一泊、永川を經て慶州一泊、十八日浦項、盈徳を經て慶北安東着、同日

總督大邱着【大邱電話】初度巡視をかねて旱害地視察のため十六日午後二時四十分京城驛發慶北に向つた小磯總督は午後七時二十六分大邱驛着、高尾慶北知事、山本大邱府尹以下官民多數の出迎へをうけ直ちに田中旅館に入つた

【寫眞＝京城驛頭の總督】

龍田丸、昭南入港
喜びの引揚同胞九百餘名

【龍田丸にて十六日同盟】遠く英國、南阿、エジプト近くは印度、マレー方面で抑留されてゐた同胞九百十九名を乘せた歡びの交換船龍田丸は十六日午後二時半沸きあがる歡呼の中を昭南港に入港した、ロレンソ・マルケス出帆印度洋横斷十四日間の航海を終へなつかしの昭南を眼前にしたマレー方面のかうとするが[illegible]昭南上陸豫定のものは五百五十名である、その色分けを見るとゴム關係者の百五十名をはじめ鑛山關係者、國民學校職員、醫薬關係者など大東亞戰爭勃發前までマレー、昭南方面に在住した人々でその殆どしてゐる[illegible]豐富な經驗などは建設に缺くべからざるものであらう、盟邦タイ國の在英公使を筆頭とする四十二名も下船、大東亞戰にふるひ起つ若き祖國へ急ぐことになつてゐる

先づ戸籍整備へ
徴兵制實施の基礎工作
戸籍主任會議ひらく

明後十八年度から實施される徴兵制の態勢に萬遺漏を期して總督府では先づその基底ともいふべき戸籍の整備要綱成案を確立、さきに全鮮地方法院長會議を開いてその大綱に對する審議を終へたので、さらに十六日午前十時半から全鮮裁判所戸籍主任會議を關係者六十九名出席、在城裁判所及び檢事局監督官參列のもと京城府民館小講堂に開催、會議は先づ宮本法院長の訓示に始まり徴兵制度實施の基礎工作として近く施行する寄留制度の實施對策、戸籍整備の具體策について協議がつづけられたが、この會議は四日間十九日まで續行される

同日からでも建設戰の尖兵として斷

ため十六日午前九時より本省會議室に遞信局長打合會議を開き、寺田遞信局長より訓示ののち、手島次官より行政簡素化實施に關し詳細な指示があり、同案を中心に隔意なき意見の交換を行つた

樞密院本會議

【東京電話】十六日樞密院定例本會議は 天皇陛下親臨のもとに午前十時より宮中に開催、原、鈴木正副議長以下各顧問官（三十顧問官缺席）政府側より東條首相ほか各閣僚（[illegible]相缺席）[illegible]

總督府辭令（十五日附）

供託局書記城山守衞任裁判所書記長（六等）補咸地書記長▲（黄海）道技師黒岩勝兼任穀物檢査所技師（六等）▲太田明二任京城高商教授（六等）▲（大東）高女教諭宮澤軍太任中學校教諭（七等）補公州中學教諭▲（公州）中學校教諭竹中康雄任高女教諭（七等）補大東高女教諭▲野口政則任產業主事（七等待遇）補慶南產業主事▲田中謹一任產業技師（七等待遇）補京畿產業技師▲（新義州地方法院）判事吉永主佑陞敍高等官四等▲（咸地）裁判所書記長小田切佑三依願免本官▲（黄海）產業技手中川泰雄依願免本職

▲しかもその背水の陣を布くやう厳命した獨軍はその背水の陣は完全に成功して白軍を擊破することに成功した▲今度もチモシエンコによつて背水の陣が布かれボルガの鐵橋は全部破壊したが▲總局この背水の陣は成功しなかつたわけである▲スターリンの戰慄はさぞかし無慘なものがあらうと思はれる▲悲壯なのは籠城の赤軍將兵で、獨の十字砲火に粉碎するか、ボルガに飛び込んで死ぬかである▲ボルガがロシヤの母であるとすれば、母の子である赤い兵士たちは銃を捨てゝ、喜んで河中に投ずるかしらぬが▲そんな感傷的な死に方を考へるにはあまりに現實的な慘敗である▲この悲慘な赤軍の斷末魔を見てチヤーチルとルーズベルトは一體何と考へるか▲第二戰線の好餌をもつてソ聯を釣り、まんまと陷穽に陷れた英米の非人道▲この萬死に價する欺瞞の罪は第一神が見逃すわけはない▲英米はあれほど叩かれても、惡業非道をやめぬ▲最早や息の根をとめるよりほかはないのである

獨軍は既に〃市の都心に突入したやうだから、同市の陥落は文字通り目睫にせまつたと見てよい▲今度の赤軍の防衛作戰を見ると一九一八年の革命戰における同市の防衛作戰と同じである▲當時この市の防衛指揮に當つたのはスターリンとウオロシーロフとの二人であるが▲總指揮官レーニンがその防衛のため所謂背水の陣を布くやう厳命した

半島産業 緊急處理の體制 確立問題漸く焦眉化す

半島産業の戰時助成體制としては戰時金融金庫の進出がすでに決定してゐるが、重要物資管理營團及び産業設備營團の進出については目下のところ少くとも十八年度要求豫算においては全く計上されてをらず、一應內地施設の進出援用によるものとみられる、まづ新造船舶の買取は産業設備營團を通ずることに決定をみた上に同營團の進出が具體的に相當進展しつゝある、たゞこゝに問題となつてゐる點は同營團法の朝鮮內施行であつて總督府としては未だ各般條件が整つてをらず、業務のみの利用で十分なりとの見解に立ち、また別途方法として重要物資管理營團業務とも併せた融通、綜合機構をも考究してゐる、重要物資管理營團の進出は産業設備營團と同樣に考へられ、かつそれよりさらに營團側の活動力が資金等において未だ期待するものより遠くこゝ當分は具體的にも利用し得ないとの理由で應急處理をなすことになりつゝある

ともあれ半島産業の戰時緊急處理體制の確立はやうやく強大なる要求をみる情勢となつて來たことは注目され、これと企業整備關係がいかに運用されるかは半島産業行政の一大課題となるに至つた

電力消費の規正 實施方針要綱決る

【東京電話】第五回中央電力調整委員會は十六日午後二時より遞信省會議室に開催、會長寺島遞相、池尾日發總裁ほか委員出席、遞信大臣諮問事項たる『昭和十七年度十月以降における電力消費規正實施方針要綱(案)』につき田倉、森、藤事より詳細說明政府原案通り可決三時五十分散會した、本方針は去る六月十二日の閣議決定を經たる十七年度電力動員計畫要綱に基くもので戰時下緊要なる軍需その他重要産業方面に對する電力供給確保のため一般電力の需要について一段とこれを抑制するとともに重點的供給を強化し、また發電力の有効適切なる利用をはかるため豐水期における電力利用強化をはからんとするものである、なほ昨年度の電力消費規正要綱は冬季のみに限られたが、本年度は大體向ふ一ケ年間を豫定してゐる、消費規正細その他具體的實施方法は近く發表の豫定であ

電力消費規正實施方針要綱

一、昭和十七年十月以降における電力消費規正は本方針に基きこれを實施すること

二、電力の需用を左の五種とし、その區分は別に定むる電力消費規正需用區分表によること、第一種、第二種(甲類及乙類に區分す)第三種、第四種、電燈用

三、第一種需用は特に當該工場又は事業場に對し電力の供給を確保するに非ざれば國防目的達成上直接重大なる支障を來す虞れあるものに限定し、これに對しては所要の電力の供給を確保すること

四、第二種需用甲類に對しては可及的その必要とする電力の供給に努むること、なかんづく充足軍需、輕金屬工業、石炭鑛業、金屬鑛業、硫安製造事業、工作機械製造事業、製鐵事業、造船事業用電力にして緊急供給を要するものは特に供給の確保に努むること

五、第二種乙類及第三種需用に對しては當該地域の需給狀況に應じ電力の供給をなすこと

六、第四種需用に對しては消費又は供給禁止の強化徹底をはかること

七、電燈用需用に對しては一定の消費基準を示すとともに超過消費量に對する特別料金を定むるなどの方法によりさらに消費規正の徹底をはかること

八、國民の戰時生活維持に必要とする電力需用に對してはこれが供給の確保に努むること

九、公共用又は保安用などの需用にして特に必要なるもの、その他緊急に電力の供給を必要とする特別の事情あるものについては必要最低限度の電力を供給すること

十、新規又は增加電力需用に對しては當該需用地域における電力需給の狀況を考慮の上戰時下特に緊要なるものに限り電力を供給すること

十一、消費規正に必要なる實施計畫は左の地域につきこれを設定すること
關東地方、中部地方、近畿地方、中國地方、四國地方、九州地方、東北地方、北海道地方

十二、常時電力の供給に對する制限は特別の需用ある場合のほか昭和十七年四月乃至六月の期間における平均需用實績を基準とし制限比率を適用すること

十三、特殊電力の供給については特別の需用ある場合のほか制限實施期間は原則としてこれを停止すること

十四、各地域に適用すべき制限比率は需用種別毎に制限の限度を示すものとし水力の增減に即應してこれが實施を實施し水力を有効に利用し得る如く適應すること

十五、制限比率は各地域を通じ可及的同一ならしめ、これがため石炭の配給を調整するとゝもに送電連絡ある地域間の電力の融通をはかること

十六、制限比率は可及的長期間にわたり變動を與へざる如く措置するも渇水期もしくは石炭入手困難などのため、これが強化を必要とする事態の發生したる場合これが變更に當りては事情の許す限り相當の豫告期間を存すること

十七、消費規正實施のため必要あるときは休電日の指定、尖頭負荷時における使用電力の制限又は禁止、操業時間の調整などを實施すること

十八、所定の限度を越えて電力を消費したるものに對し遞信局長の必要ありと認めたる時は送電の停止、休日の增加その他適當と認むる處分をなすこと

十九、豐水期の發電、水力の有効利用をはかり渇水期間における生産の減少を補ふため、豐水期間における電力利用強化ならびに深夜間餘剩水力の利用促進をはかること

二十、尖頭負荷時における發電を輕減し火力發電用燃料の節約をはかるため豐水期間においても休電日のふり替へ指定を實施すること

特選 出發用意 朝鮮寫眞會 島田常雄

電氣料金愈よ改正 來月一日から實施

【東京電話】遞信省では過般來電燈料金の全國的均衡をはかるとゝもに消費規正をさらに徹底するため電燈料金の統一改正に關する準備を進めてゐたが、準備完了し十五日付をもつて遞信大臣より各配電會社に對し區域改正料金の詳細について通達し、料金改正に伴ふ各社の電氣供給規程の變更についても同日附をもつてそれぞれ變更承認の指令を發した、これが實施は原則として十月一日より行はれるが全國的には値上げとならず値上げとなる一部都市においても一般の消費者にとつて現行料金よりも一割內外の値上げに止まるもので、改正電氣供給規程の主要變更事項と決定料金その他の概要は次のごとくである

▲改正電氣供給規程における主要變更事項

一、普通定額電燈は取付け電燈四燈以下の需用に限り、五燈以上の需用は原則として從量供給とした

二、普通從量電燈の供給料金制は基本料金制とし、基本料金は取付電燈數に應じ支拂はるゝものとしこの場合受口は一箇につき一燈と看做し、また百ワットを超ゆる取付電燈は百ワット每に一燈と看做す

三、普通定額電燈の燭光の表示は從前電球の種類により水平燭光または球面燭光によりたるものを電球の全光束につき十ルーメン一燭の割にて統一的に算定することに改め、その種類も五燭より十燭にいたる七種に定めた

四、電燈の供給時間は區域を指定して漸次統一的に晝夜間供給を實施することゝし、統一的に晝夜間供給を實施したる區域においては定額供給についても必要時以外の時間における消燈を條件として格別夜間料金に割增を行はざること

五、契約用量六キロワット以上の電燈需用につき大口電燈の供給種別を設けた

六、農場、漁業用のため季節的に施設せらるる野外電燈需用につき農事燈、漁期燈の供給種別を設け時間的需用にかゝはらず可及的低廉に供給するものとした

七、救護法制度を統一徹底し軍事扶助法もしくはこれに準ずる法令により救護をうけ、または救護法により市町村より公費の救護をうけるものにして府縣知事または市町村長より證明ありたるものに對し電燈一燈の無料供給および配線の無料貸付をなす

八、定額供給に使用する電球については可及的に必要時以外の電力消費を抑制し電球資材の節約をはかる趣旨より自然斷芯などの場合の引換においても若干引換料を徵する

九、燈火管制により長期にわたり消燈する街燈などは無料にて休止の取扱ひをなす

一〇、從前一部區域で行はれた個人の臨時料金の割引は廢止する但し燈火管制規則により發置燈として指定せられたものについては燈火管制實施期間中街路燈に準じ割引取扱ひをなす

一一、供給制度の變更にともなひこの際休止の手續きをなさんとする取付電燈についてはすべて無料にてこれが手續をなす

一二、月の中途における契約變更の場合の料金計算は半月計算とす、但し定額電燈用の廢設置廢止、移轉の場合は從前通りの日割計算とす

南方建設着々進捗 マレー スマトラ のゴム八割復舊

【昭南十六日同盟】世界ゴム産額の約八割を占めるマレー、スマトラのゴムの生産、集荷、輸出など一切の經營を委託された昭南ゴム組合は頗る順調に發展してゐる、すなはち去る五月一日理事長松本三郎氏を主班とする同組合幹部一行五十名が昭南に到着その後、部隊〇〇名が到着し七月十九日には總務、生産、集荷、計理、企畫調査の六部が設けられ綜合的經營の圓滑な運營を期し同時にマレー、スマトラの各地に支部が設置されさらにスマトラ北部支部の設立を契機として野村殖産會社指導のもとに[illegible]組合會は八月一日昭南ゴム組合に統合され、こゝに邦人ゴム園は總て同組合の管理下に移されることになつた、現在昭南ゴム組合の管理下にあるマレーの邦人ゴム園は八月末調査によると合計千二百エステート、面積にして二百萬エーカーにのぼりこのうちいつでも採取可能ないしはすでに作業してゐるゴム林の植付面積は百七十萬エーカー、職員勞務者は二十四萬、處理工場の復舊も著しく進捗、六月から八月までの二ケ月間に〇〇トンが生産された、一方スマトラにおける同組合の管理エステートは約百五十萬エーカーと見積られ、このほか[illegible]耕地として約十四萬エーカーが開放されてゐる

松原氏辭任を表明 京城商議の議員總會開かる

松原會頭の勇退に伴ふ補缺選擧方法を決定すべき京城商議の議員總會は十六日午後四時四十五分、定刻より十五分おくれて同所第一會議室に開會、開會に先立ち松原氏より本來の銀行業務が多忙である上にとかく留守勝ちであるため到底會頭の重責を果し得ぬのみでなく、監督官廳の御意見もあつて永く會頭の椅子にあることは困難な事情にあるので、身勝手で甚だ相すまぬが今回辭任を許してもらつた次第である、なほ會頭後任には朝鮮にとつて出來る限り立派な人物を推薦したいと心がけてゐたところ、申分のない適任者の心當りが出來たので交渉の結果內諾を得たのでこの點も併せて御諒承願ひたいと辭任の理由を述べて挨拶を行ひ議場外に後任候補は前總督府殖産局長穗積眞六郎氏であることを仄めかした、次で田中副會頭が議長席につき松原會頭の勇退に伴ふ補缺選擧執行の件を議場に諮り全員異議なくこれを承認、補缺選擧執行方法は別室で懇談會を開いて決定することゝし斯くて閉會わづか五分にして總會を終了、引續き懇談會に移つたが補缺選擧は昨年十一月の議員改選當時と同樣、推薦會を設立して特定の人物を推薦し形式のみの選擧を執行することになつたが、後任會頭に穗積前殖産局長が推薦されることは確實となつた

選擧日は十月廿一日

松原會頭の勇退に伴ふ京城商議の補缺選擧は別項の如く一級有權者のみにより推薦制選擧を執行することに決定、本月卅日選擧告示をなし十月廿一日午前十時から同十二時までに投票、翌廿二日午後二時から開票する

武者京電社長 特別議員を辭任

京城商議特別議員京電社長武者鍊三氏は、同社取締役穗積眞六郎氏が京電代表として松原前會頭の勇退に伴ふ補缺選擧に立候補する關係上、特別議員を勇退することになり十四日附で正式辭任した、なほ同氏の後任には今回會頭を勇退した松原殖銀總裁が就任することに內定、近く京畿道知事より正式任命をみるはず

新興纖維の利用 纖維調査報告會開く

戰時的な轉換期にある內地主要纖維産業の實相と將來の動向を調査研究して半島纖維産業の振興に資するため、朝鮮織物協會では過般鮮內纖維關係官および業者代表より成る調査團を七班に分けて內地各地へ派遣したが、各調査班ともこのほど歸鮮したので十六日午後二時より纖維會館會議室に第四、第六、第七調査班の第一回合同調査報告座談會を開催、各調査班員より新興纖維の生産面に利用狀況、纖維用藥品ならびに機料品の需給狀況についてそれぞれ調査結果を報告、種々質疑應答を重ねて同四時過ぎ散會した、なほ第二回調査報告座談會は來る廿二日午後二時から同所で開催する

朝鮮重化學 日本化成合併か

【東京電話】日本化成(三菱系)ではかねてマグネシユーム事業への進出を企圖してゐたが、今回信越化學の子會社たる朝鮮重化學工業(資本金五百萬円、拂込濟、社長小坂順造氏)を合併すべく交渉を進めてをり合併比率は未定であるが、朝鮮重化學工業は昨年一月創立、工場を朝鮮鎭南浦に建設し十月には製品を送り出すことになつてゐる

綿スフ會長に井上氏

【東京電話】綿スフ統制會の會長銓衡委員會ならびに第一回設立委員會は十五日午前十時より大東亞會館に開催、統制會長に鐘紡常務井上潔氏を滿場一致推薦、創立總會に附議すべく定款初年度の豫算其他を決定した、創立總會は十月四、五日頃開催される筈である、なほ同統制會事務局の機構は大體七部二十三課制となるものと見られる

殖銀令を近く一部改正 公布

戰時金融金庫業務の代行、時局産業資金の円滑化のため總督府では殖産銀行令の一部を改正することとなり兩三日中に公布されることとなつた、よつて殖銀では來る卅日午前十時より同行において臨時總會を開き定款改正を行ひ國策の要請に應ずることゝなつたが、うち主なるものは左の諸點である

一、擔保物件の價格に應じて適宜第一次抵當のほか第二次以下の抵當設定の途を講じたこと

二、貸出の限度は從來鑑定價格の三分の二となつてゐるがこれを全額まで緩和したこと

一、これまで債券の應募引受は朝鮮金融債券、朝鮮住宅營團債券などに限定されてゐたが今後營團進出の傾向にあるのでこの制限を解き『特別の法令により設立せられたる法人の債券』と改め營團關係の債券はいづれも應募引受が出來るやうになつたこと

一、現在他の銀行または東拓、日[illegible]本業金振興の[illegible]を選み得ることとなつてゐるが、戰時金融金庫へ業務代理を行ふことになるので商業業務代理に關する制限を改正したことなどである

中小商工業融資 八月中四十二萬圓

殖産銀行の中小商工業者資金融通制度による八月中の資金融通高は六十三件、四十三萬七千二百円と引續き順調で本年度累計は百四十六萬六千四百円、同制度實施以來の累計は八百廿八萬五千九百十円に達してゐる、なほ本年度累計の金融機關別融資內譯は次の通り(單位円)

	件數	金額
殖銀	三	五三、〇〇〇
商銀	五	六六、五〇〇
東一	…	…
漢銀	六	四二、〇九〇
中央無盡	三五	九四、三〇〇
金組	二〇二	四五、六〇〇
合計	三九	一、四六六、四〇〇
制度實施以來累計	三、七六	八、二八五、九一〇

人絹統制會 十一月二日 創立總會

【大阪電話】設立準備中の人絹絹統制會は來る十一月二日東京大東亞會館で創立總會を開くことに決定、十五日會員に通達を發した

小林鑛業 八分据置

小林鑛業では來る廿六日午後一時より明治町本社において第十四回定時株主總會を開き、當期利益金處分案ならびに監査役一名增員の件を附議するが配當は八分据置に內定

八幡製鐵所長に 景山齊氏を任命

日鐵では同社長兼八幡製鐵所長渡邊正雄氏の逝去に伴ひ十六日八幡製鐵所長後任として同社常務取締役景山齊氏を任命した

東拓軍勝つ 實業庭球リーグ

開幕に迫つた京城實業庭球リーグは十六日東拓コートで東拓對鐵工を擧行した、なほ十五日の鐵工對殖銀戰は三—〇で殖銀が勝つ

【殖銀】三—〇【鐵工】

◇第一回戰
(金剛)山 二—四 (三高)田山
(三高)田山 一—四 (藤原)村
(浦大)本山 三—四 (山金)內洲
(旅藤)原 三—四 (李吉)田

東拓 四—二 鐵工

◇第一回戰
(安平)井本 四—〇 (三高)田山
◇第二回戰
(大岩)島城 一—四 (浦大)本山
(安平)井本 四—〇 (旅藤)原
◇第三回戰
(安平)井本 四—二 (旅藤)原
東拓 三—二 鐵工 (東拓コート)

世界の祖國日本 (1) 三浦一郎

神代日本の世界的發展

明治以來の學者達は多く歐米學者の尻馬に乘つて彼等の代辯をしたに過ぎなかつた。日本人は人種的にツングースだとか、或は言語の方からウラルアルタイ系に屬するだのとか、色んなことをいつてゐた。金澤博士流の日韓同祖論があるかと思へば、日鮮同宗論もあり、小谷部氏や酒井氏のやうな日本は猶太族の直系で今日の猶太人はその傍系又は閑系だなどといふ說もある河口慧海氏は日本の祝詞中の祝歌又は長歌、歌謠、三番叟等に散見する『トウトウタラリタラリラ云云』は西藏語だといひ、或人はこれをカント語だといふ人もある。然るに上記原文に我國上代の祝詞であつたことが明かに書いてある。木村鷹太郎氏は主としてギリシヤと日本との一致を說いて、日本の神代記はあちらにおける出來事を書いたものだといつてゐ、石川三四郎氏はチグリス、ユウフラツトの二大河の間に豐葦原の中津國があつた樣に書いてゐる。德政金吾氏は古代埃及と日本との一致を說いて日本人は向ふから渡來したものだと結論してゐる。田口博士のペルシヤ說もよからうし、松島博士の印度說も良からう。南洋渡來說も然、ビルマ說も惡くない。滿洲でも蒙古でも漢でも良い。或はミユー大陸からの漂流民だといふ人もあらばあれ。それぞれの渡來人達が渡來したといふ十萬年以前に溯つて考へて見られたい。バイブルにいふ處のノアの洪水以前、或は自然科學のいふ大氷河以前を考へて見られたい。

=今日の文化= といふのは近々五六千年來の文化である。ノアの大洪水以後の文化、最後の大氷河後の文化である、一萬二千年前に陷沒したといふミユー大陸の文化を考慮に入れても大したことではない。その以前の人類は一體如何なる文化を持つてゐたか。又誰が統治してゐたか。地表の生物が悉く死滅するといふ程の大氷河時代といふものが、度々此地上に繰返されたといはれるが、その大氷河時代と大氷河時代との間には少くとも數千年乃至數萬年の期間が存在したのである。或は數十萬年の期間が存在したのである。その間內に人類が存在しなかつたとはいはれない。否立派に存在したことが科學的に證明されてゐるのである。今日の科學者の說明に依ると人類の紀元は百五十萬年乃至五百萬年前まで溯ることが出來るといつてゐる。當時はマンモスを始め巨大な[illegible]ともゐたであらう。駱駝や鳳凰も棲んでゐたかも知れない。

=僅か= 五、六千年足らずの人類の知識と經驗を以してもよく今日の文化に達し得るのである。まして氷河と氷河との間に數萬數十萬年の人類の悠久期間が存在したとすれば、その時代には今日以上の文化生活が營まれてゐたかも知れないのである。現に北海道釧路郊外の第三紀層中より陶器の化石その他が出土したなどもその一例である。又日本には東海道より中國四國九州にかけ銅鐸と稱する文化物が多數出土してゐる。考古學者はこの出土品を以て日本特有のものであり、少くとも四五千年前のものであると稱してゐる又日本の高原地帶にはヒモロギ、イワサカと呼ばれ來つた巨石の建設物が多數あるがその何物であるか今日迄考古學者により明かにされてゐない許りでなくその建設され、時期さへ研究されて居らない。その建設時期が、神武天皇以前のものであることだけは確實であるといはれる。

=日本書紀= に出てゐる、神武天皇東征の詔を拜見すると『天祖の降跡より以て今に逮るまで、一百七十九萬二千四百七十餘歲』と書いてゐる。卽ち天孫降臨以來百七十九萬年以上になるといふのである。倭姫世紀に依れば、瓊々杵尊の治世が三十萬八千五百三十三年、彦火々出見尊の治世が六十三萬七千八百九十二年、鸕鷀草葺不合尊の治世が八十三萬六千四十二年だと書いてゐる。大中臣文書に依れば用明天皇の二年が神紀十萬三千四百五十一年で、皇紀三萬九百六十四年に當つてゐると書いてゐる。その他竹內文書でも上記でも富士古文書でも皆相當に長い年代を記してゐる。

日本の建國は悠遠の昔であつたことは首肯される。決して二千六百年前に突如として生じた樣なものではない。

=金屬性= のものは早く腐蝕するから長く遺る筈はないが、石器、土器、骨片等により、或は巨石文化の跡を辿るなどすれば、相當なところまで溯つて人類の文化を見ることが出來る。日向の古墳群や飛彈の古墳群も勿論だが、全國的に分布してゐる幾千幾萬の手のつかない古墳群を何と見るか。前深道太郎氏や村井二郎氏等の六甲山を初め各地の山々に殘る神代遺跡の研究は未踏の地を開拓したものとして將來に殘された貴重な文獻だと思ふ。これらの古墳や神代遺跡の中には少くとも五六千年以前數萬年以前を物語る材料が多數存するとは今日諸家の同感の報告によつて既に明白である。

=種々= の古文獻に依れば、神代の皇都或は政廳は凡て高原地帶に存在したと書いてゐるがその爲であらうか、巨石文化は概して高原に見られる樣である。神代の[illegible]富士高天原の地帶にしても飛彈にしても高千穗にしても皆然りである。これは獨り日本のみの現象ではなく世界各地とも太古は皆さうだつたらうと思はれる。白頭山でも泰山でも崑崙山でも皆然りで、世界の屋根といはれる地帶を人類最初の發生地と唱へる學者もあるが強ち無理な考へ方ではあるまい。滿人や半島人や沿海州の人達は白頭山が自分達の民族發生の聖地だと考へてゐる樣だが、これは無理のないことである。台灣の生蕃は阿里山に對して同樣の信仰を抱いてゐる。

=上陸以來= 同山で[illegible]會議を開いたことや、色々な物語りを持つてゐる。伊波氏の『古琉球』を讀んで見ると、[illegible]

=從來の學者= は日本民族は渡來民族の樣に多く書いてゐる。又、神武天皇から先は突然として石器時代に入り、國民は穴居生活などをして野蠻未開であつた樣に書いてゐる。果してさうであらうか。支那や印度やギリシヤ、エジプト、バビロン、イスラエル等では三千年四千年前に既に一大文化があつたとされてゐるに關らず、日本のみ何故二千六百年からさきが原始時代の樣になつてゐるのだらうか。

又神武天皇以前の日本民族が他民族に比べて眞實に原始的蒙昧な文化水準にあつたとしたら、どうしてあの樣な、八紘爲宇、六合開都といつた樣な雄大な大宣言が爲し得たのであらう。その後の歷史的發展事實を見ても決してそんな蒙昧民族から進化したものだとは思はれない。

日本は古來神國といひ、日本民族は直接神の血統を引いた神民だといはれてゐる。親房卿の神皇正統紀の冒頭に『日本は神國なり、異朝に比類なし』といつてゐる。又豐公が誇て明使を怒つた時も『夫れ大日本は神國なり』といつてゐる。又誰やらの詩にも『神州清潔の民』などといつてゐる。御承知の樣に日本の歷史は神代から始まつてゐる。

=天地を= 開いた神々である。吾等の祖先は誇てば世界を指導し宇宙を經綸した神々である。何で他民族に劣つてゐる筈があらう。吾等は直接その神々の子孫であり宇宙を經綸し天地をおなつた神々であることを知るべきである。

神代とは一體如何なることか。この時代こそは吾等の祖先が、全世界を指導し經綸した時代ではなかつたか。

既に吾等が祖先 全世界を指導せり

商業登記公告

稔りの秋三つの誓
翼賛十月の道きまる

戰勝かゞやく『稔りの十月』の總力運動實踐申合事項が十六日決定、總力聯盟から各道聯盟會長、參加團體長へ通牒を發した、秋の收穫に總力を發揮、さらに十月三日から全國的に展開される軍人援護强調運動に歩調を合せて實踐、寄留屆の勵行などが大東亞戰完遂への新しい三つの誓ひである

一、秋の收穫に總力を發揮しませう、秋は農家の一番忙しい季節です、愛國班員はお互に助け合つて收穫に全力を盡しませう、今年は氣候の關係で不作の地方もありましたが、然し天地の恩を忘れることなく感謝の念を以て男も女も老人も子供も力一杯に働きませう

二、軍人の家を護りませう、戰死された軍人の遺家族や出征軍人のお留守宅は愛國班員が感謝と眞心で慰安や不自由のない樣にお世話を致しませう、また半島の方々で軍屬として出征中のお留守宅や戰死者の遺家族も同じ樣に慰安しお世話を致しまう

三、寄留屆を致しませう、十月十五日から朝鮮寄留令が施行せられます、本籍外に於て九十日以上居住する者は、內鮮、外人を問はず誰でも十月十五日から十四日內に、又は將來居住するやうになつた日から十四日內に屆出をしなければならないことになつてゐますから、みんな漏れなく屆出を致しませう、屆出を怠れば過料に處せられ、其他物資の配給等に不便を蒙ることがあります

翼に五色旗鮮か
本社歡迎機に喜びの應答

【歡迎機上にて坂本特派員發】滿洲國空軍初の訪日飛行部隊を歡迎すべく眞原本社航空部長同操縱機は記者を乘せて十六日午前十一時半飛行場を出發した、秋の空を截つて北へ北へと進路をとる、正午の默禱の時間もいつしか空の上で過してたゞ飛びに飛ぶ……

もどかしい時計をみ……らの鈴の……うな――來るぞと……見るのだ……ものは還……處女着陸……だ、時計……だ、遲し……に現れる……るのだが……の乘つて……うしろの……

感は必ずしも上々吉ではなかつたことなども悲觀材料の一つに數へたくなつて來たりした、たうとう一時半だ、幾度目かの不安と催促の眼を眞原氏に向けると眞原氏も意を決したらしく機はコースを逆に一直線に飛行場へ、次第に近づく飛行場には機影らしいものは何一つない、一とまづ着陸だ、出迎への人たちがどつと驅けよつた、眞原氏は軍關係者の溜りの中へ進んでいつた、氣疲れに似た身體を石ころの上に放り出して兩手を枕代りに頭へ廻さうとしたとたん向うむきになつて小便をしてゐた眞原氏が〝出發〟と吹鳴る、エンヂンをかけたまゝの機に再び飛び乘つた、上昇一機は自信あり氣に又もや北へ北へと針路をとつた、五分十分、依然として空しい時が過ぎてゆく、その時、機が突然翼を左右に振り出した、おやツと操縱席へ顏を向けると眞原氏は右の方へ顏を向けてみせた……飛行帽の頭をしやくつてみせた、飛行機だ、密雲の彼方に眞黑な點が一つ二つ三つ……來たぞ、……つたやうな恰好でぐんぐん進んでゆく三機編隊機が一隊また一隊……はぐつと急旋回して訪日飛行隊と併行した、寶氣も睡氣も一んに素ツ飛んで窓硝子に鼻の先こすりつけながら見入つた、見る見るうちに追ひ拔かれて了つたのやうに早い、光のやうな鋭さ……砥ぎすました槍先、飛ぶ槍片……視界を遠ざかつてゆく編隊機の加速度をうけて落下してゆく爆彈のやうにスイスイと前方に消えていつた、京城の上空へ挨拶に行つたのに違ひない、呆然と見とれてゐた眸を下に向けるともう飛行場上空だつた、操縦席へ笑顏を向ける、眞原氏もやつと重荷を下したといつた顏、一たん京城方面に飛んでいつた戰鬪機が再び飛行場を北よりに迴つて着陸姿勢をとつた、飛行場上空を旋回しながら見てゐるとおやツと思ふ間に、もう速度を落した黑い戰鬪機がすーと滑走路に入つてゆく、續いてまた一機、時に午後二時着いた、着いた、訪日飛行部隊の日本處女着陸だ、五色旗のマークが鮮かに翼の兩端に描かれてゐる、建設五年立派に育つた若鷲だ、あの翼は北邊鎭護の重責をがつきと支へて……

ようこそ盟邦の若鷲
訪日滿洲空軍京城へ處女着陸

……編隊は治安部參謀司長郭若霖少將、奉天飛行學校長……となつて十六日午後二時京城飛行場へ處女着陸の……五色旗の標識を鮮かに描いた指揮官機二機、戰鬪機……に北邊鎭護の重責を漲せて凜然まことに頼母しい……部編隊に誘導された指揮官機二機、戰鬪機四機の編隊……く旋回、一時五十三分尾翼に五族協和の國旗をマーク……指揮機から野口少將が勳三位景雲章を頸につるして飛……せば、續いて二番機から郭若霖少將が降り立ち新……

民政部局長、朝生朝鮮軍高級副官と挨拶を交すうちに滿洲國各都市から獻納された戰鬪機"遼陽安東三號"、奉天一、二號、鞍山二、三號の五機が着陸、午後二時全機着陸、しかしこの機影のなかに半島出身朴承煥少校の姿が見えず銃へ子に滿洲の言葉をとわざわざ飛行場に職員と出かけた滿洲國新京中學校長の失望は誰よりも大きかつた、一同は少憩ののち自動車で板垣軍司令官招待のお茶の會に臨み午後六時からは京城ホテルの總督府主催歡迎晩餐會に臨んで訪日第一夜の夢を結んだ、一行は十七日朝八時京城發一路福岡に向ふが第二班は十七日午前七時新京發、正午京城着、同日直ちに福岡へ向け出發する豫定である

寫眞＝京城安着の盟邦若鷲群と（下）は板垣軍司令官招待のお茶の會

……ゐるのだらう、〝ようこそ滿洲國空軍部隊〟飛行場上空を旋回し翔けてゐる機上で思はず叫んだのである

話は彈む往時
板垣將軍招待のお茶の會

訪日處女コースの第一歩を京城飛行場に印した野口少將指揮の日本訪問飛行部隊は十六日午後四時板垣朝鮮軍司令官々邸に入り、滿洲建國の恩人板垣將軍の心盡しによる〝お茶の會〟に臨んだ大食堂入口には日滿兩國旗の小旗が掲げられ正面に主人役の板垣將軍、その前に主賓の郭少將が腰をおろし陪賓として新貝遞信局長等の顏もみえる、板垣將軍まづ起つて滿洲建國十周年、隆々たる國運にあるとき訪日飛行の壯擧は誠に心強く思ふところでこの壯擧の無事完了されんことを祈ると述ぶれば、郭少將は盟邦日本を訪問することは感激に堪へない、わが建國に當り板垣軍司令官閣下から多大なる援助を受けまた日本空軍からも絕大なる援助を受けたことを感謝するものであると、謝辭を述べたのち盡きざる滿洲建國の數々の話に花が咲き滿洲空軍の發達を祈り同五時過ぎ散會した

總督府主催 歡迎晩餐會

總督府主催訪日飛行隊歡迎晩餐會は十六日午後六時から京城ホテルで開かれた、新貝遞信局長、下城航空課長ほか在城航空關係者出席郭少將、野口少將をはじめ友邦の若鷲を囲んで第一コース無事飛翔を祝してその勞を犒つた

感激語る親鷲
〝待ち侘びたけふ〟郭訪日團長談

郭團長

第一回訪日飛行部隊長として終始全機の統率に指導に心を碎いて來た滿洲國治安部參謀司長郭若霖少將は處女着陸を無事すました安堵の面持で訪日第一歩の言葉を次のやうに語つた

滿洲國空軍は建設わづかに五年まだ完全とはいへないが、よくぞ今日を得たものだと喜んでゐる、搭乘員全部元氣一杯、日本を訪れる日を全く親兄弟にでも逢ふかのやうに樂しんで待ち侘びて來た、今日その處女着陸を京城の地に無事印し得たことは無上の喜びである、わが空軍は目下貴國の輿望を一身に集めて活躍されてゐる東條總理大臣の御指導によつて生れたものである、東條閣下のお力添へがあつたればこそ今日あるを得たのである、われ等一同は東京において東條閣下にお逢ひ出來るのを唯一の樂しみにしてゐる

〝天佑の好天氣〟野口副團長談

野口副團長

訪日飛行部隊副團長空中指揮官野口雄二郎少將は飛行場事務所應接室で滿洲煙草をくゆらせながら空中指揮官として次の通り感想を語つた

一同無事に處女着陸出來て嬉しい、午前八時新京飛行場を出發した、新京は祝賀第二日目で大した賑ひである、式典場上空を旋回して、奉天へ向つたが、無風狀態で絕好の飛行日和、一同元氣で十時卅分奉天に到着こゝで約一時間いろいろな準備を整へ午前十一時卅分いよいよ訪日飛行の途についたが半島に入つてからも天候は全くうつてつけの良好で大任ある飛行部隊にとつては天佑神助と一同心强く感謝してゐる、午後二時京城飛行場に處女着陸するまで出發到着ともに豫定通りにいつた、朴承煥少校が奉天出發後事故があつて奉天に引返し本日ここに姿を見せてゐないのは殘念である、朴少校は技術といひ軍人精神といひ實に立派なもので非常に出來の良い飛行機乘りだ

全國民よ武裝せよ
銃劍道振興會結成に當り
江上中佐放送要旨

江上中佐

……及はいよいよ盛んになりつゝあるとき來る十八……興會京城支部の發會式を擧行するが、これに先……軍報道部江上中佐は、十六日夜京城放送局から……（銃劍道）に就て〝と題し次の如く放送した

……あり之が整備と訓練……大なる關係を有する……ある、然し陸軍の大……て戰ふものではない……小銃を執つて戰ひ射……突擊する、この白兵……は最後の決を與へら……れなくては敵の寸土……占據する事は出來な……銃は軍の主要兵器で……射擊、銃劍突擊は近……る大衆唯一の武技で……劍術が我等武人の古……技の精華であり又現……重要なる役目を果し……とに就いては異論は……は一部であり大部で……

ない所に考慮の餘地がないでもない

然るに我が國の武道の現狀は如何、民間武道といへばすべて劍道であり銃劍術は軍隊にのみ御任せすればよいと觀念してゐるのではなからうか、これが銃劍道の振興しない一大原因である、先般私は全國民武裝せよと叫んだ、何を以て武裝すべきや、曰く小銃なり、これを以てする射擊と銃劍道――國民皆兵に關り壯丁、青年男子が鍊成訓練すべきはこの銃劍道と射擊である、この修鍊に依り得たる技と體力氣力は出でて直ちに戰場に……

……役立ち內に在りては各々職域奉公の基を爲し聖戰完遂の一翼に寄與すること大なるものあり射擊、銃劍道こそは實戰的武道であり國防武道であり現代緊急の武道である

皇軍の强味は白兵

大東亞戰において捕虜となつた米英兵に日本軍に對する感想を尋ねて見よ、彼等は異口同音に『銃劍突擊が恐い』と答へるであらう、あの山川震ふ突擊の喚聲と晃々たる銃劍の林立とは敵軍をして戰慄措伏失神せしむる、支那事變においても我が兵に倍する十倍の兵力を持ちながら、我一兵これを守れば克くこれを陷れ得ない原因は何處に在る、彼は手榴彈投擲距離迄は近接し得るも恐れ白兵の自信なき爲め一歩前進して、我に突入する勇氣がないのである

これに反して戰況頗る我に困難なるも、僅かに數名の兵を擁して至近の距離に至る迄依然沈着正確なる射擊を實施し、決然逆襲に轉じて陣地を保持した戰例を吾等は幾多持つてゐる、中支戰線において後方にある衞生兵が竹槍を持つて數倍の敵を擊退した事もある、又パレンバンの落下傘部隊においては三名にて兵營に突入これを占領してゐるではないか、如何なる悲慘なる戰況においても、吾が精兵は最後には白兵を振つて彼等を必殺し得る滿々たる自信を內に包藏するが故に常に沈着であり勇敢である、銃劍道は日本軍の精華であり特徴である

徵兵制度は半島人に國防力昂揚要求

朝鮮同胞二千四百萬が久しく待望した徵兵制度の實施は二年後の目睫の間に迫つて來た、これに對する準備はよいか、曰く何、曰く何、求めらるゝ事項は數限りない然し就中焦眉の急は青少年諸君が明日の國防の任に應じ得る能力が附與せらるゝことである、しかして幾多の基本的要求中その最も緊……

教育は容易に實行

……要なるものは銃劍道と射擊である、吾人は一人の宮本武藏を作るのが目的でない、大衆的な戰士を養成するのが目的である、從つて必ずしも名人的精鍊なる教育者を必要としない、銃劍術の教育者は津々浦々に在鄕軍人の既教育者が充滿してゐる、戰時下物資獲得の困難により防具を得られないと悲觀することはない、全國到る處に竹槍藁人形を製造して訓練を開始することが出來る、來るべき十八日の大會にその教育法を御目に掛ける筈である

銃劍道振興會

銃劍道振興會が結成せられ已に二星霜、陸海軍省、文部省、厚生省の後援の下に、內地各地には津々浦々に至る迄殆ど之が結成を見その雄叫びが朝夕國民の耳朶を衝いてゐるのに朝鮮の現狀は如何？わが京城師團が率先陣頭に立ちて朝鮮軍司令部、總督府の絕大なる後援の下に、來る九月十八日滿洲事變記念日をトし銃劍道振興會結成式を擧行し、その第一歩を擧げる……のはこれが爲である、その綱領に曰く

一、實戰的武道の粹たる銃劍道は國防武道にして精熟を要するの度極めて大なるに鑑み、之を皇國臣民に普及徹底し以て斯道の振興を圖る

銃劍道振興會の組織は概ね帝國在鄕軍人會の組織に準じたものであるが、其の會員は在鄕軍人のみならず學生、生徒、訓練所員等總ての男子を網羅し、皆く皇國臣民に普及徹底してゐるのが特徵である、朝鮮は特殊事情に依り京城聯合支部管下に京城、平壤、大邱、光州四支部を結成せられあるも、將來徵兵制度施行に伴ひ各道に支部が改變せらるゝ豫定である

本會は大日本武德會の有力なる包攝團體であつて、本會員は正しく武德會員でもある、但し逆に武德會員なるが故に銃劍道振興會員と云ふことは云へない、學生生徒は個人として加入は認められないが、學校團體として加入し各所に行はるゝ行事に參加するのは毫も差支へないばかりではなく、文部當局、總督府當局は之を大いに獎勵してゐるのである、然して本會の發展は一に會員諸君の熱誠如何に係るも一般國民の精神的物質的の熱烈なる支援なくては其の順調なる發展は期せられない、正會員として直接銃劍道を修得鍊磨せらるゝ以外の人にして本會の趣旨を賛同せらるゝ人は何卒賛助會員として本會の普及振興に協力して戴き度い、否戰時下國民の全部は進んで正會員たらずんば賛助會員たるを信じて私は疑はない我が京城師團聯合支部の結成式を期として全鮮各地に速かに分會が結成せられ勇壯なる『ドウ』『ドウー』の雄叫びが津々浦々に展開せらるゝ日を待望するのである

飛ぶぞ鮮産ソアラー
航空日を飾る威容

飛ぶぞ、鮮産ソアラーが半島のすみきつた大空に――東亞の大空を掩つて燦々たる武勳に輝く航空日本を讃へて大東亞戰下初めて迎へる第三回航空日の廿日、半島の津々浦々に壯麗な〝大空の祭典〟が華々しく繰展げられるが、この日の呼びものの一つとしての京城滑空大會に全國唯一を誇るソアラーを飛ばさうと京城新堂町の富永滑空機製作所では千野企畫主任と朝鮮國防航空團の朝川參事とが手をとつて去る八月から新型のソアラー二台製作に當つてゐたが、このほど主翼と附屬品一切が具備されたので十六日午後二時から同製作所前の廣場で本格的な組立てを行つた、これで一台は廿日の航空日、澄み渡つた大空の蒼さに溶け込む快翔ソアラーの晴姿を飛ばすことになり、あとの一台は三越で開催された航空展に御目見得することとなつた【寫眞＝鮮産ソアラー】

譽れの六鳥人
航空日に表彰式

【東京電話】遞信省は來る二十日の第三回航空日に際し民間航空の發達に功勞のあつた左記六氏一社を表彰することとなり當日午前八時半から遞信大臣室でその表彰式を擧行する、表彰される功勞者のうち五名は民間航空機乘員としての功績特に顯著なるものと認められ『航空有功章』を授與、乘員としての最高榮譽をになふこととなつた

航空有功章を授與せらるるもの

◇一等飛行操縱士、一等航空士　鳥居清治（中華航空會社所屬、靜岡縣出身）

◇一等飛行操縱士、一等航空士　大森正男（日本航空研究所、岡山縣出身）

◇一等飛行操縱士、二等航空士　新野百三郎（朝日新聞社所屬、福岡縣出身）

◇一等飛行操縱士、一等航空士　米津太平（滿洲航空株式會社所屬、愛知縣出身）

◇一等飛行操縱士、一等航空士　荒木次郎（中華航空會社所屬、岐阜縣出身）

同氏は航空機乘員として大正十四年以降現在に至るまで十七年間從事し、總飛行時間九千時間を超え、技倆拔群にして他の範たるのみならず、定期航空の發達、後進の指導誘掖に努めるなどその功績特に卓越せるによる

賞狀及び賞金を授與せらるる者

朝日新聞社　昭和五年四月全國各大學および高等專門學校學生間に澎湃として起れる航空への關心を背景として社內に財團法人日本學生航空聯盟を設置し、爾來十有二ケ年の長きにわたり幾多の育成發展に努め、優秀なる航空技術者多數を養成しわが國民間航空の發達に寄與せるところ少からざりしによる

伊藤音次郎（大阪府出身）同氏はわが國航空の草創時代より航空機の試作研究に從ひ大正四年伊藤飛行機研究所を起し航空機製作技術の推進に努むるとともに飛行倶樂部、東京帆走飛行倶樂部などを組織し優秀なる航空機乘員の育成に從事せるほか滑空機の製造、普及に精進するなど、わが國航空の發達に寄與せるところ少からざりしによる

稻垣海軍中將

【東京電話】海軍大學校長海軍中將稻垣生起氏は十五日午後六時腦溢血のため杉並區荻窪の自邸で逝去した享年五十三

同中將は和歌山縣出身、兵學校、海軍大學校卒業ののち軍令部參謀、比叡艦長などを經て航空本部總務部長に補せられ海鷲の育成整備に功績があつた、特に支那事變勃發當初の渡洋爆擊の際には〇〇艦長として小型機による渡洋爆擊を敢行、勇名を馳せ、最近海軍大學校長の要職に補せられたのであつた

高宮家弔問

（十六日分）丹下郁太郎氏ほか三十六名

夕刊
京城日報

帝徳を壽ぐ大祝賀會

滿洲建國十周年・けふ週間第四日目

皇帝陛下祝賀會に御臨（電送）

慶祝詞奏上の梅津大使に勅語

國都南嶺に轟く萬歳

【新京特電】滿洲建國十周年祝賀會は十五日の式典に引續き十六日南嶺の式場において擧行された、昨日の式典の嚴肅さに引かへ今日の祝賀會は十周年の建國を心からお祝ひするといふ和かさが滿ちあふれてゐるのを見のがせない、光榮の參列者は式典と同じく約一萬五千、一般、式殿昇殿者とも午前十一時十分までに入場整列、梅津關東軍司令官兼駐滿大使は十一時十五分到着、皇帝陛下の御臨を御待ち申上げるうち皇帝陛下には前日と同じく扈從者を隨へ、第二御列にて十一時二十分會場御着、暫し便殿に入らせられ、その間張國務總理以下有資格者に謁見を賜り十一時二十九分張國務總理の御先導、國歌奏唱、諸員奉迎の裡に式殿中央の御座に御臨、煙火合圖に祝賀會開始の旨を張總理より奏上、滿洲國軍軍樂隊先づ日本國歌を、次で滿洲國國歌を吹奏、張國務總理、協和會々長御前に參進し恭しく慶祝詞を奏上、續いて梅津關東軍司令官兼駐滿大使殿上所定の位置に參進、慶祝詞を奏上すれば皇帝陛下には優渥なる勅語を賜る、かくて總員着席十一時五十分君民和樂の大宴は開かれた、紅黄二色の慶祝餅を杉箱に收め滿洲產純絹製重地に建國十周年記念マークを染上げた風呂敷に包んだ主饌、滿洲パン、殼付落花生、白魚、乾燥肉を箱に納めセロファン紙をかけた副饌、滿洲産梁正宗二合入瓶の祝酒を前に十年の道を顧みて感慨無量の者、十年前の今日と思ひ比べて感涙にむせぶもの、そのたどる記憶は各々かはれども勝々たる今日の國運を目のあたりにして『よくもまあ生長せるものかな』と眞に腹の底から湧き上る喜びをかくすことの出來ない歡喜の色が一萬五千の面上に溢はれる、やがて宮內府雅樂部樂員三氏の指導によれる滿系男學生四人が舞ふ古風典雅な舞踊『胡蝶の舞』、舞踊學院長中山義夫氏指導の近代的慶祝舞踊は典雅優美遠く神代から現代への文化の跡を捉へて表徵の妙參列者の心を誘つて天國に遊ばしめ、大塚指揮者の率ゐる祝典吹奏樂隊の各曲目は萬餘の魂を恍惚境に導き擧十滿洲を謳歌してあまさず、君民和樂の大饗宴はいよく最高潮に達し、御座の皇帝陛下には御盃を手に左右を顧みいと御滿悦の體に拜された、やがて張總理、協和會長起つて皇帝陛下萬歲を奉唱一同これに和し終つて祝賀會終了の旨を奏上、陛下には諸員奉送のうち御便殿に還御あらせられ、建國十年を祝ふ東亞千億の民の大饗宴はしづかに幕を閉ぢた

帝都でけふ慶祝々賀會

【東京電話】四千三百萬國民が歡喜と力を緊張させて心から建國十周年を壽いだ友邦滿洲國興亞の盛儀も無事第一日を終了し、十六日國都新京の絢爛豪華な大祝賀會に呼應して帝都でも午後零時半から神宮外苑、日本青年館に駐日滿洲國大使館、在京滿洲國關係會社聯盟共催の『建國十周年在京滿洲國民慶祝大會』が菱刈大將、東條勝子夫人をはじめ滿洲會、新京會、日滿帝國婦人會、關係者等朝野名士約一千六百名參集のもとに盛大に催された、式は定跡國民儀禮には じまり滿洲國大使館園田総務課長の挨拶、李大使の建國十周年に賜りたる詔書奉讀のゝち李大使、菱刈大將の發聲で聖壽萬歲、皇帝陛下萬歲を奉唱して散會した

石黑次官、食品局長事務取扱

【東京電話】農林次官 石黑武重
農林省食品局長事務取扱
農林省食品局長 辻 謹吾
依願免本官

米本土を初空襲

燒夷彈を投下各所に火災

海鷲、オレゴン州に進攻す

【ブエノスアイレス十五日同盟】サンフランシスコ來電によれば、米西部防衞司令部は去る九日日本飛行機が米本土に對する初空襲を敢行、オレゴン州西南部に燒夷彈を投下火災を生ぜしめた旨十四日夜左の如く發表した

日本機は米本土に對し初空襲を行つた、同機は沿岸に散在する大都市を避けてカリフオルニヤ州に接するオレゴン州西南部に燒夷彈を投下火災を生ぜしめた、同地區監視人ハワード・ガードナーは九日午前六時（日本時間九日午後十時）頃海上から國籍不明の水上機一機が進入するのを發見、同方面から黑煙が上るのを目擊した、また同日午前十一時（日本時間十日午前三時）米陸軍哨戒機はオレゴン州海岸三十哩の沖合に國籍不明の潛水艦一隻を發見これに爆擊を加へたが、その結果は不明であつた

【ブエノスアイレス十五日同盟】サンフランシスコ來電によれば、九日行はれた日本機の米本土初空襲は西部沿岸州の住民に大衝動を與へ、當局は沿岸防衞の强化に懸命の努力を行つてゐる模樣であるが、オレゴン州防衞擔當官ジエロルド・オーウエンは十五日ユーピー通信記者との會見で左の如く語つた、日本機の米本土初空襲は米西部諸州住民の士氣を昂揚する結果となるやう念願してやまない、今回の空襲は小規模のものであつたが、これにつゞいて新しい攻擊が加へられることを覺悟しなければならない

彈片に日本文字

米側發表全文

【ブエノスアイレス十五日同盟】サンフランシスコ來電＝日本機の米本土初空襲に關する米西部防衞司令部發表（九月十四日發）全文左の通り

米西部防衞司令部はオレゴン州森林管理局員によつて發見された燒夷彈の彈片と覺しきものを檢査した結果、右彈片にある印しにより判斷してこれが日本製のものであるとの結論に到達した、九日午前六時ごろ（太平洋戰時々間）國籍不明の小型水上機が海上から陸地に向つて進入するのが目擊され、卅分後の六時半には同機が同地を通過して海上に向ふ爆音を聽いた當時は視界狹く西方に向ふ同機の姿は確認されなかつた、午前六時廿四分森林監視官ハワード・ガードナーは國籍不明の水上機が西方から飛翔して陸地上空に進入し旋回したのち海上に向ふのを目擊してゐる、同人の語るところによれば右はフロートを有する小型機で速力は遲いものであつた、右飛行機には識別標識なく色彩、標識も肉眼では見えなかつた、同日午前十一ごろ（太平洋戰時時間）陸軍哨戒機は同方面海岸沖合約三十哩の地點に國籍不明の潛水艦を發見これに爆擊を加へたがその結果は不明である、午後零時半ごろ（太平洋戰時々間）火災が發見された、投下された燒夷彈により沿岸地帶の一地點に大穴があきその附近に重量にして約四十ポンドの金屬性の彈片が發見された、この彈片には日本文字があつた

中央停車場を占領す

獨軍スターリングラードに着々戰果を擴大

【ベルリン特電】（十五日發）スターリングラード市內に突入したドイツ軍は死鬪の後十五日遂に市內中央停車場を占領した

防衞の赤軍悉く

鏖殺殲滅の運命

獨軍、すでに作戰目標達成

【ベルリン十五日同盟】デー・エヌ・ベー通信によれば、獨軍事消息通は十五日夜スターリングラードの陷落がいよく目睫の間に迫つた事實を强調するとともに今次夏季攻勢の目標はウクライナおよびドン河全流域の確保ならびにコーカサスの完全切斷にある旨を指摘して左の如く說明した、スターリングラード防衞の赤軍は文字通り殲滅されつゝある、ボルガ河の橋梁がすべて破壞されてしまつた今日、もはや赤軍將士にはボルガ河東岸に逃げる機會を全く失つてしまつた、從つていでボルガ河を渡河せんとすれば河岸にある友軍の猛砲火を浴びなければならない、スターリングラードの赤軍將兵は獨軍に殲滅されるか、あるひは友軍砲火に斃れるかの何れかである、さらに本年度獨軍軍事攻勢の目標はソ聯にとつて非常な重要性を有するウクライナの黑土地帶およびドン河全流域の確保であり、かつまたこの地方の全工業資源地域ならびにスターリングラード地域を含む軍需工業地帶の占領にある、これに加へてコーカサス油田地帶の切斷にも獨軍の目標である、すでに彪大な地域を獨軍の手中に收めたことはソ聯にとりた大打擊であるのみならず、これは赤軍ドイツに取つてもその軍事能力に對する非常なプラスを意味する、さらにもし獨軍が面積においてソ聯本土と等しいコーカサスの切斷が成功するならば、ソ聯の攻擊力は全く取るに足らないものとなるであらう

ジンナーも缺席

印度中央議會 完全にボイコット

【リスボン十五日同盟】印度中央議會は十四日からニューデリーで開かれたが、當地へ達した情報によれば、開會當日の下院は缺席者續出で氣の拔けたやうな有樣だつた、すなはち定員數百四十一名のうち出席者は半分に滿たず僅かに七十名足らずに過ぎず、殊に反英抗爭で多數の逮捕者を出した國民會議派議員は一人も顏を見せず完全に議會をボイコットし、また回敎徒聯盟總裁ジンナーも缺席し注目を惹いた

知れ日本人の底力

グルー前駐日大使 米國民に警告

【ブエノスアイレス十四日同盟】ワシントン來電によればグルー前駐日米大使は十三日夜米國東部海岸の軍需工場において勞働者を前に一場の演說を行ひ米國民の奮起を促した、演說は全米に中繼放送されたが要旨左の如し

國民以來幾多の人と話をして現在如何なる事態に直面してゐるかにつき充分認識を有するやに見受けられたことは喜ばしい、これらの人々はわれわれが單に國家の『利益』を擁護するため遠くの敵と戰つてゐるのではなく

國家の生命 そのものの存在を擁護する ために 戰つてゐるのだといふ事實を本當に理解してゐないやうであり日本に關してはまだく一般に誤まつて判斷されてゐるやうに思はれる、余は特に日本軍の優秀性と實力ならびに全力を傾けて目的を達成せぬ場合死すともやまずといふ日本軍の敢鬪精神につきわが同胞の注意を喚起したい、多くの人々は余に向つて米國民の用意は出來てゐるのにその指導者は國民の進路を示してくれないと語つたが、道を示すとは何んのことであらうか、米國の指導者が

國民に進路 を示してゐないと考へるものは誰でも大統領、國務長官、その他の政府高官の聲明を繰返し熟讀飜味したらよからう、余個人の見たところによればワシントンにおける米國の指導者はその當面してゐる多くの問題を確固たる決意をもつて解決せんとしてゐる、されば米國民が全體として[illegible]われの直面する危險に目覺め政戰の結果如何なる事態に導くかを理解し勝利によつて得られ、また得ねばならぬものが何であるかを悟り國民各自の色々な能力を最大限に發揮することのみが喫緊の急務である、余は戰線から數千哩も離れた米國民にとつてこの戰爭意義を理解するのが如何に困難であるかは理解出來ぬとはない、しかしながら日本國民は 陸海の將星から農民に至るまでこの戰爭が最後まで戰ひ拔かねばならぬことを知つてゐるのだ

武勳の三提督參內

【東京電話】武勳輝かしくこの程歸還した海軍少將多田武雄、同一瀨信一、同市岡壽各提督は十六日午後一時過ぎ參內同一時卅分表御座所において 天皇陛下に拜謁仰付けられ、終つて南溜間において祝酒を拜受し光榮に恐懼して宮中を退下した、なほ畏き邊りではこの日三提督に對し御紋附木杯一組宛を下賜せられ畏く勞を犒はせられた

陸軍司政長官發令

【東京電話】陸軍中將松浦光湍氏以下十氏の陸軍司政長官及び司政官一名は次の通り發令された

任陸軍司政長官（一等） 陸軍中將 松浦光湍
陸軍少將 馬場龜格
興亞院調査官 東谷傳次郎
財務局長 長谷川安次郎
大藏書記官 小林末夫
任陸軍司政官（三等）
任陸軍司政長官（二等）
商工省記官 陸軍少尉 平井富三郎
同 臺灣總督府事務官 高原逸人
拓務省管理局長 山越道三
預金部書記官兼大藏書記官陸軍少尉 原久一郎
東京府參事官兼大藏書記官 杉山益作

旱害對策費七百萬圓

徵兵制準備訓練費とともに

第二豫備金支出決る

【東京特電】水田財務局長は東上中の要務を終へ十五日歸任の途についたが次の如く語つた、第二豫備金支出についての大藏省との交渉も片づいたが、徵兵制の準備訓練費凡そ六十萬円が承認されることとなつた、この經費は十八年度にはもつと殖大するので今回のはその頭の部分に過ぎぬ、旱害對策費は七百萬円程度であるが、この金額は對策費の一部で、殘りは追加豫算に仰ぐこととならう、明年度

（水田財務局長談）

戰時放送の性格

小野田 甫

戰爭と建設との並進これこそ今次大東亞戰に於ける戰時放送の性格と稱すべきであらう。而してこれは恰もラジオの特長たる和戰兩面的性格と符節する。即ちラジオの發展は第一次大戰終了後急速に行はれたため、それは戰爭の一形態として考へられ宣傳機關として、政治の手段たる機能は充分利用されてゐなかつた。

然るに今やラジオは戰爭遂行の爲の最も重要な武器と考へられるに至つた。それは第一に國內放送に於て國民に必勝の信念を涵養し、國論統一を實現するために爲政者が民衆に直接話しかけ得る最も簡便な手段である。第二に、對外放送に於て敵性國家に對する對敵宣傳戰、思想戰の尖鋭なる武器として戰線の後方を攪亂する最も有力な手段として武力戰に劣らぬ威力を發揮する。第三に、それは占領地域民族に同化的一體觀を釀成する爲の奇民族工作の主要な一部門になつてゐるからである。

この特性は大東亞戰爭勃發以後の放送において、一面戰爭、一面建設の特異な現象に對應して各般の機能を最高度に發揮しつゝあることは國內放送は勿論、短波による海外放送においても晝夜から晝夜に亙つて一日の放送時間五十二時間、十八ケ國語を驅使して正義の主張を叫び續け、敵國人をして我が海外放送に信服せしめつゝある實績がこれを證明するであらう。

而して今後に殘された重大な課題は、東亞より米英的思想を掃拭し、世界を光被する雄渾なる大亞細亞文化の創造と大東亞十億諸民族の親善融和工作であるが、廣域に亘る大東亞圏の諸民族は地理的、歷史的のみならず、言語、文化、經濟において各々その內容と水準を異にし、これ等を包括して指導するに足る大亞細亞文化の創造は今後指導者日本に與へられたる重要責務であり、これが推進的役割は放送事業の將來に殘された困難なる命題である。（筆者は京城中央放送局業務課長）

田中政務總監今夜東京發

歸任の途へ

【東京特電】田中政務總監は十六日午後十一時東京驛發の列車で歸任の途につくが、總監は東京滯在中の十五日午前木村陸軍次官、澤本海軍次官、山崎內務次官等を各省に、更に午後谷拓相官邸に井野農相を、首相官邸に東條首相等に四長官をそれぐ訪問して

の豫算編成方針についても種々打合を行つた

張總理へ祝辭祝電

【新京十六日同盟】建國十周年記念式典に當り杉山參謀總長ならびに小磯朝鮮總督、畑支那派遣軍總司令官は張總理にあて十六日それぐ祝辭祝電を寄せた

＝人＝

◇志田甲太郎氏（明大總長）十六日入城
◇野口少將（滿洲國第日本軍空軍指揮官）十六日入城半島ホテル
◇郭少將（同參謀長）同上
◇丸山少佐（同軍副官）同上
◇臼石繁吉（貯銀常務取締役）城津支店ならびに興南出張所開店挨拶のため出張中十五日歸城

時の錄音

敵を求めて驅逐艦を知らず、米本土空襲の常識破たり、また快ならずや。

×

さるにてもヤンキーどもの心驚、震へ上つて、動かなくなつたか。

×

獨軍スターリングラード中央停車場を占領すと。都心は既に獨軍の手中に歸したと見てよい。

×

赤軍はボルガを背に文字通りの背水の陣を布いて抵抗してゐるが、大勢は最早や抗すべくもない。

×

ス市陷落は最早最少限度の時間内にせまつたと見てよからう。

×

英、北阿トブルクに上陸作戰を試みたが、忽ちチエップの二の舞に終る。

×

どうせ空襲狙ひのやうな上陸作戰だ、成功するわけがない。

×

國民を饑餓に包んで、男爵の若き顏を[illegible]

×

ようこそ、歡迎！